

登録コード	E1000900	開講年度	2026				
授業科目	子どもと健康				担当教員	友川 幸	
英文授業名	Child and Health				副担当		
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学生	2-4年生
講義室	教育E 401		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				幼児期の健康課題や発達、体の諸機能の発達と生活習慣の形成、倫理観、安全な生活と怪我や病気の予防、運動の発達の特徴と意義、および多様な動きを獲得することの意義等を説明できるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				日本の幼児教育における健康及び安全に関連する諸活動の特色や、その役割、および健康及び安全に関連する活動を幼児教育の現場でよりよく実践していくために必要な課題を議論できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基盤となる知識・技能を身に付ける。具体的には、幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達等において、幼児期には大人と違った特徴や意義があることを踏まえ、その相違が指導方法にも関連していることについて理解する。具体例を交えた講義を通して、健康及び安全に関連する活動のねらいと役割等の基礎知識を解説する。また、授業内での各テーマに関する議論やミニレポート作成を通して、日本の特色や、健康及び安全に関連する活動の重要性や役割、幼児教育の現場でよりよく実践していくために必要な課題を議論する						
(5)授業計画	第1回：乳幼児期の健康課題：乳幼児期の健康の意義、乳幼児を取り巻く生活 第2回：幼児の身体発達の特徴：乳幼児期の身体的発達の特徴、生理的機能の発達 第3回：乳幼児期の生活習慣の形成：乳幼児期の生活習慣（脱衣、食事、睡眠、清潔、排泄）の獲得及び生活リズムの形成とその意義（ICT機器の活用指導を含む） 第4回：幼児の安全教育と危険（リスクとハザード）：子どもの安全への意識や態度を育むことの重要性和安全管理 第5回：幼児期の怪我や事故の特徴と応急処置・病気の予防：幼児期に起こりやすい怪我の特徴と応急処置の基礎及び病気の予防 第6回：保育施設での手洗い指導のための準備 第7回：保育施設での手洗い指導 定期試験：期末試験と授業のまとめ、授業アンケート 各授業の前後に小テスト及びレポートの提出、授業中にグループ発表を行う場合がある						
(6)成績評価の方法	授業のねらい～の到達状況をはかるための 1)基礎的な知識の習得と理解の深まり評価する試験及びレポート（70点） 2)授業内容の理解と自己学習の状況を評価するための授業ノート(15点) 3)基礎的な知識の習得と理解の深まり評価するグループ発表（15点） 上記をもとに総合的に評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	・中間・期末試験の場合： 授業で説明した内容と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題から難しい応用問題が解ければ「卓越している」と評価する。 ・授業ノートの場合 (i) 授業のレジュメが印刷、貼りつけされている、（ ）授業内容に関するコメントが記載されている、（ ）授業に直接関係することに関して、自分で調べた情報が記載されている、（ ）授業に関する応用的な内容に関して自分で調べた情報が記載されている、（ ）自分で調べた内容に関して批判的考察がされている。（ ）から（ ）の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目できていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」と評価する。 ・グループ発表の場合：						

(7)成績評価の基準	()対象の課題が十分に理解されている,()問題の設定が適切である,()対象の興味や関心をひく内容になっている()発表時間が適切に確保されている,()適切な発表が行われている。()から()の5項目を満たしていれば「卓越している」,4項目までできていれば,「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」。2項目までできていれば「水準にある」と評価する。 ・レポートの場合: ()問題の設定が適切である。()その問題の背景を説明できている。()提示された問題にどのような課題があるのかを指摘できている。()提示された問題の課題に対しての既存の学説が提示する解決法が適切に把握できている。()自分の見解を提示できている,かつ,誤字脱字がなく,引用文献やデータの出所が明確である。()から()の5項目を満たしていれば「卓越している」,4項目までできていれば,「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」。2項目までできていれば「水準にある」と評価する。
(8)事前事後学習の内容	eALPS上に次週の授業内容を掲載するので,ダウンロードして予習しておくこと。自宅学習では,専門書,新聞,ニュース,インターネットなどを用いて,授業で扱った内容や健康や安全,環境に関する情報や時事問題について学習すること。授業内で十分に理解できなかった事項は,授業内で紹介する書籍などを用いて,自宅学習などを行い,補完・理解するように努めること。この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って,30時間以上の時間外学習が必要となります。
(9)履修上の注意	プレゼンテーションの資料に関しては,インターネットの情報のコピーや出所の不明瞭な情報を使用しないこと。授業への遅刻,授業に関係ない作業(授業中の飲食,ガムを噛むこと,他の授業のテスト勉強や提出物の作成,携帯電話の使用)および私語を禁止する。履修にあたっては,公衆衛生学及び学校保健基礎を合わせて履修することを推奨する。アルバイトや部活動などによる欠席は公欠として認められない。
(10)質問,相談への対応及び連絡先	授業に関する質問は,基本的に授業内で確認するようにし,授業内で解決できなかった質問については,sachitjp@shinshu-u.ac.jpにメールで質問すること。オフィスアワーは,毎週火曜日の12時20分~12時50分の間であり,E309室にて対応する。相談事項等がある場合は,必ず事前にメールで連絡すること。
【教科書】	教科書】: 幼稚園教育要領解説 https://www.mext.go.jp/content/1384661_3_3.pdf
【参考文献】	学校保健マニュアル第10版 衛藤隆,植田誠治 南山堂 2017年 (4950円)